

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

# HOT times

ほっと タイムズ

2025  
vol.56

take FREE

ご自由にお持ち帰りください

## 特集 頭頸部がん

命と機能を守る、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の取り組み



## 頭頸部がんについて

専門性の高い技術を駆使し、  
命とその人らしく生きるために必要な機能を守ります



耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長  
にしむら ぶんご  
西村 文吾

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会  
耳鼻咽喉科専門医・指導医  
日本頭頸部外科学会  
頭頸部がん専門医・指導医

### 生活の質（QOL）の確保とがん治療の両立に挑む

頭頸部がんは全身のがんのうち5%を占めると言われています。首から上の頭頸部と呼ばれる領域のがんで、口やのど、鼻など様々な部位に発生します。頭頸部には生活をしていく上で重要な臓器や器官が集中しています。呼吸や食事など生命維持に欠かせない機能だけでなく、声を出す、表情を作る、匂いを嗅ぐ、味を感じる、音を聞くといった生活の質（QOL）を保つために大切な働きを支えています。

頭頸部がんは命に関わる疾患ですが、腫瘍による症状だけでなく治療の影響や後遺症によって頭頸部の機能に障害が生じてQOLが著しく低下してしまうことも大きな問題になります。

我々耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、いかにがんを治すかだけでなく、さまざまな重要な機能を温存すること、さらには失った機能を再獲得するという課題にも取り組んでいます。

### 頭頸部の構造



とうけいぶ  
頭頸部について

頭頸部とは脳と目を除く首から上のすべての領域を指します

(出典：がん情報サービス)

## TOPIC 01

## おもな頭頸部がんについて

### 咽頭がん

一般にのどと言われる部位は咽頭と喉頭に分類されます。咽頭はおもに呼吸や嚥下に関わる部分で鼻の奥が上咽頭、口の奥が中咽頭、そのさらに奥で食道の入り口までが下咽頭と呼ばれます。それぞれの領域にがんができますが、それぞれ特徴が大きく異なります。

#### ●上咽頭がん●

鼻腔の奥にできるがんです。ウイルスが関与していると言われていて、見つかりにくい場所で中耳と繋がる耳管が閉塞して滲出性中耳炎を来すことで難聴が生じて発見されることもあります。

#### ●中咽頭がん●

口の奥、扁桃のあたりにできるがんです。ヒトパピローマウイルス（HPV）という子宮頸がんの原因にもなるウイルスが関与して若い人にも発症すると言われていて、HPVのワクチンが子宮頸がんだけでなく中咽頭がんの予防にもつながることが指摘されています。

#### ●下咽頭がん●

食道の入り口と声帯のある喉頭の近くにできるがんですが、症状が出にくく発見されにくいがんです。胃カメラなどで偶発的に発見されることもあります。飲酒と喫煙が原因となることが多く、大酒家やヘビースモーカーの方によく見られます。

### 喉頭がん

声帯を中心とした領域に認められるがんです。声の変化で気づくことが多く、早期で発見されることもよくありますが、進行すると呼吸困難となります。喫煙者の方は発症リスクが著明に上がります。早期であれば放射線療法などで喉頭を温存することが可能ですが、進行がんになると喉頭全摘術で声帯を摘出し発声機能を失うことになります。



写真左：早期の喉頭がん 写真右：進行喉頭がん

### 口腔がん

口の中のがんで、舌がんの頻度が多いのですが、歯肉や頬の粘膜、口唇などにもできます。喫煙や虫歯が原因の一つとなることがあります。手術による治療が主体ですが、大きく切除した場合、お腹や太腿の皮膚・筋肉を移植する再建手術が必要となります。その場合、話をする機能（構音機能）や飲み込む機能（嚥下機能）に障害が出る可能性があります。



### 鼻副鼻腔がん

鼻やその周囲の副鼻腔にできるがんです。鼻閉や鼻出血などの症状を来すことがありますが、副鼻腔は症状が出にくいので、進行して頬や目が腫れてきて発見されることがあります。

大きな手術を行うと顔面の変形や視機能の損失を伴うこともあります。当院では放射線科の協力のもと、動脈注射による化学療法と放射線療法を組み合わせた治療も行っています。

### 唾液腺がん

耳下腺、顎下腺、舌下腺という唾液を出す器官に発生します。耳の下や顎の下が腫れてきて発見されます。手術による摘出が治療の主体ですが、多くの種類の腫瘍ができる臓器で、近年は効果が期待できる薬物療法の選択肢が徐々に増えてきています。

### 甲状腺がん

日本人は一生のうちに3人に1人は発症すると言われているほど頻度の高いがんです。生命に関わることなく経過するおとなしいがんも多く、小さながんの場合経過観察でよいこともあります。一方、手術や放射性ヨウ素内用療法が必要となるリスクの高いがんや、さらには急速に進行する危険ながんなど、様々な種類のがんがあります。がんの種類や病状によって治療方針を検討、選択していきます。



### ●放射線療法●

臓器を温存し機能障害をなるべく来さないように腫瘍のみを消失させる治療です。皮膚や粘膜の炎症が起き、のどの渇きなどの症状が残りますが、早期のがんであれば根治を目指せます。手術のあとに補助療法として行うこともあります。

### ●薬物療法●

単独でがんを根治させるのは困難ですが、放射線療法と併用したり、再発や転移を来した場合に腫瘍の進行を遅らせたり腫瘍を縮小して症状を抑えたりする目的で抗がん剤や免疫チェックポイント阻害薬などの薬物の投与を行うことがあります。がん遺伝子パネル検査などでこれまでの治療で効果が出なかった腫瘍に対しても新たな薬物の選択肢を提示することができる場合があります。薬物療法の選択肢が増えたことで以前に比べて再発転移した場合の生存期間が延長する傾向にあります。

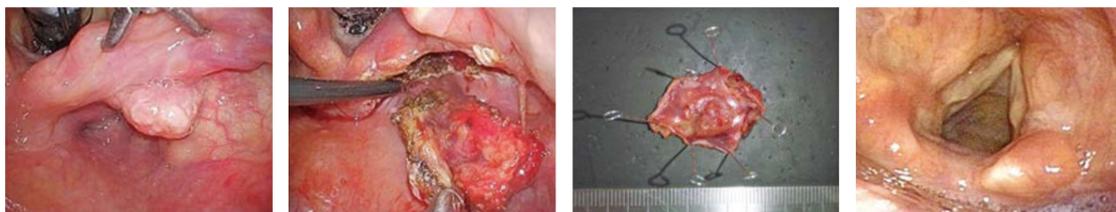
### ●緩和ケア●

頭頸部がんは病変の場所が顔やのど、頸部にあることで症状、苦痛が強くなってしまふ疾患です。治療開始と同時に適切な鎮痛薬の投与や気道の確保、栄養摂取方法の確立など、心身への負担を軽減しながら治療に取り組めるように緩和ケアも併せて行っていくことが重要です。

## 頭頸部がんの治療について

### ●手術●

腫瘍を体から取り除くために最も確実な方法と言えます。頭頸部は外から見えやすい場所なので、切除に伴って創や切除後の変化が目立つことが問題となります。また手術の範囲によって嚥下障害や構音障害が生じ、発声機能を喪失することもあります。当科ではのどのがんについては早期であれば内視鏡を使って口からとる経口的手術を取り入れて、整容面や機能温存を目指した治療を行っています。



下咽頭がん経口切除

## 喉頭摘出後の音声リハビリテーション

喉頭がんや咽頭がんでは喉頭摘出を伴う手術を行った場合、発声機能を喪失します。音声によるコミュニケーションを再獲得するため、**電気喉頭を使う方法**と、飲み込んだ息を出すことで発声する**食道発声**と、気管と食道の間にボイスプロテーシスを挿入して肺からの呼吸を利用して発声する**シャント発声**の3つの方法があります。**当院では主にシャント発声による音声リハビリテーションに力を入れています。メンテナンスが必要ですが習得率が高く、聞き取りやすい声を出すことができます。**



シャント発声

## 新たながんの治療法 「光免疫療法(頭頸部アルミノックス治療)」

近年新たながんの治療法として「光免疫療法」が登場してきました。2021年から切除不能な局所進行再発頭頸部がんに対して保険適応となった治療法です。がん細胞にくっつき光に反応して細胞を死滅させる薬を投与して、腫瘍にレーザー光を照射して治すという治療法です。現時点(2025年4月)で世界に先駆けて日本のみで保険承認され、国内でも限られた施設でのみ行われている治療ですが、当院では2023年から施行しています。今後さらに他のがんにも適応が広がることが期待されています。

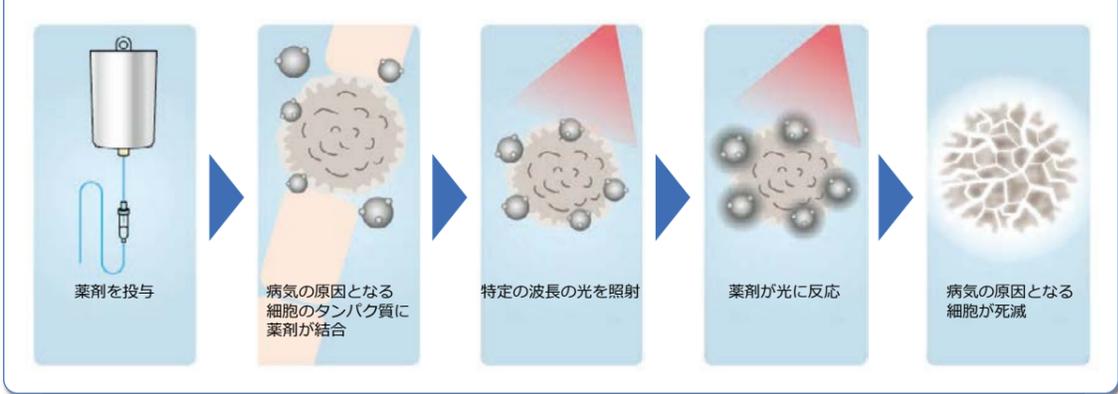


光免疫療法(アルミノックス治療)を用いて治療中実際の様子

### 光免疫療法(アルミノックス治療※)

“薬物の投与”と“特定の波長の光照射”を組み合わせ、これまでとは異なる治療方法です。

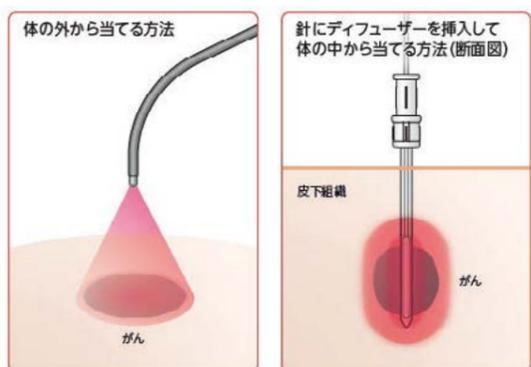
#### 「薬剤の投与」+「特定の波長の光照射」



提供：楽天メディカル(株)

※「アルミノックス治療」は「アルミノックスTMプラットフォームに基づき開発された医薬品・医療機器による治療法」を指します。

### レーザー光照射について



使用するレーザー光は医療機器から供給され、ディフューザーと呼ばれる光ファイバーから放出されます。レーザー光は2種類の方法で当てられます。一つはがんの表面の部分に、ディフューザーで体の外から当てる方法です。もう一つは皮下組織(体の中)にあるがん針を刺し、そこにディフューザーを挿入して体の中から当てる方法です。がんの部位や大きさによって、どちらか片方の方法で治療する場合と、両方の方法で行う場合があります。

提供：楽天メディカル(株)

## クローズアップ CLOSE UP 放射線診断科・IVR

放射線診断科・IVR 部長

こやま けん  
児山 健



画像診断の技術を活用し

低侵襲的な診断・治療を実現

画像の専門家として放射線診断を行い、低侵襲的な治療として注目されるIVRにも積極的に取り組む放射線診断科・IVRのご紹介をします。

### 画像診断を行い、各診療科の治療方針の決定に大きく貢献

放射線診断科は患者さんには馴染みが薄いかもありませんが、病院において実はずっと大切な仕事を行っています。放射線技師が撮影した主にCT、MRI、消化管造影、核医学検査(PETなど)などの画像検査に対し、放射線診断科は画像診断レポートを作成し、各診療科をサポートしています。このように、画像診断はあらゆる臓器が対象となるため、範囲も非常に広く様々な知識が必要となります。また、放射線技師が撮影する画像検査に対し、我々放射線診断医が依頼内容に適した最適な撮影方法、撮影条件などを指示し、個々の患者さんにおいてより良い、適切な画像を撮影しています。

### 体の負担が少ないIVR治療に力を入れています

放射線診断科では画像診断以外にもIVR(interventional radiology: 画像誘導下治療)で直接患者さんの治療も行っています。IVRは血管造影・超音波・CTなどの画像ガイド下に経皮的に行う治療で、腫瘍や血管病変など全身の幅広い疾患に低侵襲な治療が行えます。主に腫瘍の栄養血管や出血に対するカテーテルを用いた血管塞栓術やCTや超音波を用いて膿瘍(膿)に針を刺しドレナージ※を行ったりしています。当院のIVRの特色としては全国に十数台しかない装置を導入しており、腎癌を凍らせて治療する凍結治療を行っています。

※ドレーンやチューブ、カテーテルなどを用いて、血液、膿、滲出液、消化液など体内に貯留した液体を体外に誘導し、排出することをいいます。

### 新しいIVR-CTの導入でより繊細な治療が可能に

当院ではIVR機器であるIVR-CTが新しくなります。IVR-CTとは血管造影装置にCT装置が付いている機器です。血管造影装置とCTを知っている方はたくさんいると思いますが、恐らく別々に使用しているのではないかと思います。血管造影装置にCTを組み合わせることで、より細かな治療が可能となり、結果的に負担の少ない治療となることがあります。IVR-CTは大きな病院でも導入されていない場合が多く、茨城県内でもそれほど多くありません。

### 医療機関のみならず

放射線診断科・IVRでは、他の診療科とカンファレンスを定期的に行い、困難な患者さんの治療方針を一緒に考え、検討もしています。また、近隣の医療機関からの画像検査も積極的に受け付けており、画像診断レポートを作成し依頼元に返信をしています。各医療機関での画像診断でお困りの症例がありましたら、当院の地域医療連携室を通じて何なりとご相談ください。今後ともよろしくお願い申し上げます。



新たに導入したIVR-CT



自分で予防できる数少ないがんのひとつです

## 子宮頸がん検診で早期発見 HPVワクチンで予防を

### 子宮頸がんってどんな病気？

子宮頸がんは若い年齢層で発症する割合が比較的高く、また初期症状がほとんどないため、気づかぬまま進行すると治療が困難となり女性の人生に大きく影響します。そのため予防と早期発見が極めて重要となります。そこでくわしいお話を産婦人科の沖 明典先生にお聞きしました。

### Q. 子宮頸がんはどのような原因でなりますか。

A. 子宮頸がんとは、子宮の頸部（子宮の入り口）にできる悪性腫瘍のことで、大多数の子宮頸がんの発生にヒトパピローマウイルス（HPV）の持続感染が関与しています。先日、子宮頸がんに関する最新の知見を知る講演会があり、「HPVは感染してもほとんどが宿主免疫により排除され、運悪く排除できないウイルスが癌化を促進する」のではなく、「HPVはたいていの女性が感染しているものの、宿主免疫で増殖が抑えられており、時々増殖するなどして顕性化し、運が悪いと癌化する」という自然史が示されました。つまり、HPVもヘルペスや水痘帯状疱疹ウイルスと同じように感染後は潜伏感染するという事です。これまでは、感染しても排除できると言われていたものが、完全に排除することはほとんどなく、検査感度以下で潜伏しており、宿主の免疫状態が低下した時にグリラ的に表在化するという事です。大多数の女性では免疫低下状態は持続しませんが、HPVの潜伏感染状態で、運が悪いと細胞内にウイルスゲノムが取り込まれて、更に不運な場合に子宮頸がんが発症するという事になります。



### Q. 予防方法はありますか。

A. 子宮頸がん検診とHPVワクチンをおすすめします。子宮頸がん検診は細胞診からより根本的な原因であるHPV検査に変更されることが予定されており、検診精度は高まることが期待されますが、持続感染しているHPVが消滅するわけではありません。そしてより根本的な予防法は、性的接触機会以前のHPVワクチン接種に他なりません。

ティール&ホワイトリボンが子宮頸がん啓発活動のシンボル。ティールとは、英語で“コガモ”を意味しており、コガモの頭から首にかけての羽の色を表す。



副病院長・周産期センター長  
おき あきのり  
沖 明典

沖先生  
から  
ひとつこと

### 婦人科がん診療の専門である私の経験から

20年ほど前の大学病院勤務時代のエピソードです。20歳半ほど、慢性腎炎から腎不全となり透析していた彼女は、恋人ができ結婚を考えていた時に、母親から提供されて腎移植を行いました。

母親は娘が透析を離脱し、妊娠して出産できるようにとの配慮だった

ようです。移植は成功したのですが、移植後1年しない頃、彼女は子宮頸がん2b期と診断され、子宮を摘出せざるを得なくなって入院、その時に私が主治医となったのです。入院後約1週間は話してもらえず、ずっと泣いていたのを覚えています。ようやく手術を決心して、子宮摘出時に骨盤内に移植された腎臓が手術の妨げとなり、移植腎を残しながらリンパ節郭清を移植外科医と行ったのが印象的でした。

その後徐々に精神的に回復したものの、術後1年あまりで再発。本人、家族そして主治医チームが必死に支えあい、放射線治療を行ったところ、再発病巣は消失しました。その後、毎回外来での検査で再発兆候がないことを喜び合い、5年が経過した頃、新たなパートナーと結婚し、今でも元気に外来に通院してきています。この話を書いたのは、若年子宮頸がんの患者さんで、今となっては当時のことを笑いながら話せる数少ないケースだからです。子宮頸がんはそれ以上に悲劇的なエピソードに事欠きません。

当院には毎年たくさんの婦人科がんの患者さんが紹介されてきます。年齢は20歳代から90歳代までさまざまですが、婦人科においては近年の妊娠・出産年齢の上昇もあり、特に妊娠できる可能性（妊孕性<sup>にんようせい</sup>といいます）を温存する患者さんのがん治療はそのがん治療後の生存と妊孕性を両立させる必要があり、その対応に苦慮する場面に遭遇します。特に子宮頸がんは若い母親世代の命を奪うことから「mother-killer」と呼ばれ、仕事や育児、主婦業などで検診受診に時間を取ることが難しい若年世代では進行も早いことから少なからず悲劇が繰り返されてきました。

子宮頸がんは自分で予防できる数少ないがんのひとつです。「ご本人はがん検診を、娘さんにはワクチンを」が我々のスローガンです。もちろん、ワクチンだけではなく、がん検診も必須です。大切なのちを守るために、まずは身近の方々から声がけて悲劇を防いでいきましょう。質問などあれば、いつでも産婦人科医にお問合せください。



# クロスロード

はたらく人 × 想い no.6

## 臨床検査技師 横田 知加子

### 検査技術で診療を支える



私は幼少期に入院中の叔母のお見舞いで病院を訪れたことがきっかけで病院での仕事に興味を持ち、臨床検査技師の道に進みました。臨床検査技師の業務は多岐にわたり、それぞれの専門分野に分かれて業務を行っていますが、私は身体の構造や機能について調べる生理機能検査に従事し、心電図検査や超音波検査などを担当しています。検査を受けることに不安や緊張を持たれる患者さんも多いと思いますが、少しでも安心して検査を受けていただけるように努めています。認知度が高いとは言えない職種ですが、技術を活かして診療に貢献できる、やりがいを感じられる仕事です。これからも質の高い検査を提供できるよう尽力して参ります。

# ちょこっと Kenchu //

**不要不急の救急車利用が増えています！**  
救急車を呼ぶか迷ったら救急電話相談へ

急な病気やケガで救急車を呼ぶか迷った時は救急電話相談へご相談を。看護師等の専門家が救急車を呼んだ方がいいか、急いで病院を受診した方がいいか、また受診可能な医療機関などをご案内します。病院や救急車は限りある資源です。大切な命のために救急車の適正利用にご協力をお願いします。

## 急な病気やケガで救急車を呼ぶか迷ったら…

茨城県 **救急電話相談** 相談受付 24時間365日 [相談無料] • 通話料は利用者負担

### おとな救急電話相談 (15歳以上)

プッシュ回線の固定電話、携帯電話からは局番なしの

# 7 1 1 9

### 子ども救急電話相談 (15歳未満)

プッシュ回線の固定電話、携帯電話からは局番なしの

# 8 0 0 0

受診可能な医療機関もご案内します。その他の電話からは **050-5445-2856**

### 茨城県救急お役立ち情報

救急車が必要な症状を知りたいときや、受診可能な医療機関を探したいときなどはこちら→ [https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/iryo/iryo/isei/qq\\_link.html](https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/iryo/iryo/isei/qq_link.html)



※本相談は診療行為、医療行為ではありません。電話でのアドバイスにより相談者の判断の参考としていただくものですので予めご理解のうえご利用ください。

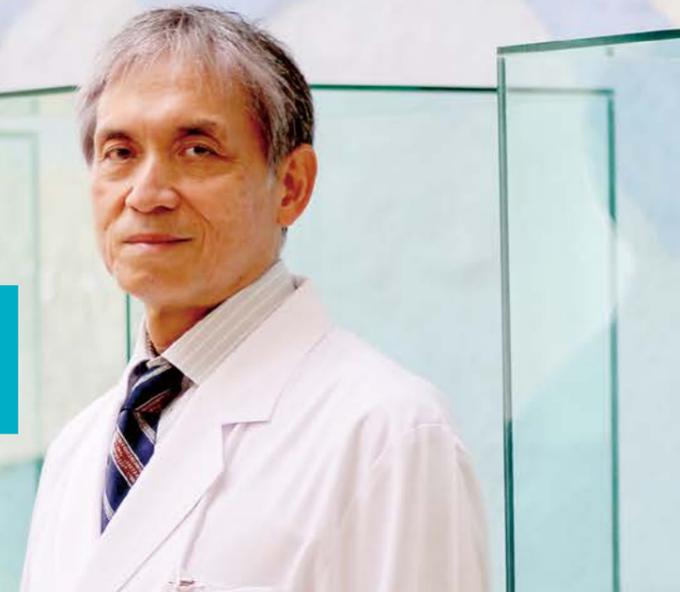
# MESSAGE

## 第19回

### 地域医療構想について —水戸保健医療圏と当院の方向性—

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

病院長 しま ずい とおる 島居 徹



「地域医療構想」は、それぞれ事情の異なる地域ごとに適切な医療を効率良く提供する体制を作るための取り組みです。団塊の世代が75歳以上になる2025年を、「高齢者人口の増加により医療や介護の需要が最大化する年」と見定め、政策として進められてきました。

医療需要は地域によって異なり、高齢者人口の増減などでも必要な病床の種類（医療機能）や数は変わります。病床数が足りなければ医療の供給は滞り、逆に病床数が過剰だったり機能に偏りがあつたりすると、供給効率の低下につながります。

そこで地域医療構想では、各地域の人口推計を基に必要な医療機能や病床数を推定し、各医療機関の分担（機能分化）や医療機関の連携を促します。全国に341の区域を設定し、2025年の推定人口や年齢構成から、4つの医療機能ごとに必要な病床数を下の表のように分類して定めています。一般的に急性期が多く、高度急性期と回復期が不足しているとされ、本院が所在する水戸保健医療圏も同様で、2023年当時の病床数、2025年に必要とされる病床数、その過不足は表のとおりです。

その他の水戸保健医療圏の課題として、一定規模の

総合病院が複数あること、おのおの老朽化と狭隘化に直面していること、さらに県北など周辺地域からの需要があること、などがあり、2017年以降、地域医療構想による再編統合や機能分化・連携強化の検討が行われてきましたが、コロナ禍の影響もあり、なかなか結論がでませんでした。

そのような中で、「本医療圏の地域医療構想は複数個の総合病院とこども病院を対象に検討すること」が決まり、その後の調整会議の討議などを経て、このたび、当院とこども病院が統合し、新たな拠点のひとつとして再スタートする方針が示されました。本年度から基本構想の策定にはいる予定ですが、まだまだ時間がかかる作業であり、その間も当院の医療機能を維持、さらに向上させてまいる所存ですので、皆様のご理解ご協力をお願い致します。

さて、2025年をむかえた現在、国では高齢者人口がピークから減少に転ずる2040年を視野に、コロナ禍で浮き彫りになった課題もふまえた「新たな地域医療構想」の検討が始まっております。本医療圏における検討内容についてはまたの機会にご紹介したいと思います。

参考： <https://www.doctor-vision.com/column/trend/regionalvision.php>

表 医療機能と水戸保健医療圏の病床数

病床の名称	内 容	水戸保健医療圏の病床数		
		2023年	2025年必要	過不足
高度急性期	急性期の患者に対し、診療密度が特に高い医療を提供する機能	290	621	331不足
急性期	急性期の患者に対し医療を提供する機能	2,640	1,626	1,014超過
回復期	急性期を経過した患者へ在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能	759	1,510	751不足
慢性期	長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能	1,017	721	296超過

# あなたの街のお医者さん

連携  
医療機関の  
ご紹介

茨城県立中央病院と連携し、地域の皆さまの健康をサポートしてくれる医療機関をご紹介します。

## 武藤医院

内科・皮膚科・アレルギー科



昭和56年の開院以来、茨城県笠間市で地域医療に携わっております。内科を中心に、患者様一人ひとりに寄り添う丁寧な診療を心掛けてまいりました。地域医療連携では、高度な治療が必要な患者様を県立中央病院様が温かく受け入れてくださり、地域の基幹病院として多大なご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

診療対象は子どもから高齢者まで幅広く、予防接種や生活習慣病管理など日常的健康相談にも対応。「気軽に相談できるかかりつけ医」として、地域の健康のサポートをしていきたいと考えております。開院から40年以上、地域のみなさまと共に歩んでまいりました。今後も県立中央病院との連携を基盤に地域医療の充実に尽力してまいります。

☎ 0296-77-6610

院長：武藤 昌伸

住所：笠間市平町1635-1



### 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
8:30-12:00	○	○	○	—	○	○	—
14:00-18:00	○	○	○	—	○	○	—

休診日：木曜、日曜、祝日

## なかの歯科医院

歯科・小児歯科



なかの歯科医院はひたちなか市稲田にある歯科医院で、平成元年に開業し今年で36年目を迎えます。当院はなるべく「削らない」「抜かない」「痛みの軽減」を目指しており、今あるお痛みだけではなく、その他のリスクについても様々な検査機器を用いて細かな検査・予防をいたします。お口のお悩みは人それぞれです。皆様のお口の健康をお守りできるよう、それぞれに合った治療や情報の提供、できるだけ多くの選択肢を提供し、丁寧で分かりやすい治療の説明を心がけております。専門的な機器を用いたクリーニング等も行っておりますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

☎ 029-285-3618

院長：中野 啓子

住所：ひたちなか市稲田358-5



### 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	—
13:30-18:30	○	○	○	○	○	13:30 17:30	—

休診日：第1・第3木曜、第4土曜、日曜、祝日

